※令和４年度以降入学生用

学校番号	211

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「家基 70７図説家庭基礎」　（実教出版）						
副教材等	生活 Navi 資料＋成分表　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業で学んだ内容を自分自身の生活に照らし合わせ、実際に生活の中で実践して下さい。その積み重ねが、あなた方の生活をより良いものとすることに繋がります。家庭科は、「知識・技術の習得と実践」、両方が大切である教科です。

２　学習の到達目標

・家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ，家族や家庭生活のありかた，子どもと高齢者の生活と福祉，生活の自立のための衣食住や消費生活・環境などの基礎的な知識・技術を身につける（知識及び技能）
・生活課題を主体的に見いだし、解決策を構想し実践する力を身につける（思考力・判断力・表現力等）
・よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける（学びに向かう力、人間性等）

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第1章自分らしい生き方と家族	1節　生涯発達する人生 2 節　これからの人生をデザインする 3 節　青年期を生きる 4 節　生活を支える労働 5 節　生活時間から見えてくるもの 6節　男女共同参画社会をめざして 7 節　現代の家族 8 節　家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題 9 節　家族に関する法律の理念と変化	a:　人の一生には様々なライフイベントがあり、家族形態も多様であることと、家族に関する法律について理解している。さらに自分自身の人生と家族につい具体的に考えようとしている。 b:人の一生には様々なライフイベントがあり、家族形態も多様であることと、家族に関する法律について理解している。 c:　人の一生には様々なライフイベントがあり、家族形態も多様であることと、家族に関する法律について考えるよう促す。	小テスト 課題 定期考査	課題	プリント等
	第2章子どもとかかわる	1 節　子どもの誕生 2 節　からだの発達 3 節　運動機能の発達と知的発達 4 節　かかわりのなかの発達 5 節　子どもの生活習慣と健康 6節　子どもの食生活・衣生活 7 節　子どもと遊び 8節　親になることを考えよう 9節　すこやかに育つ環境と支援 10節　子どもを守る法律・制度	a:　子どもの心身の発達と特徴、その生活、子どものすこやかな発達を支える方法について深く理解している。さらには主体的かつ具体的に考えられている。 b:子どもの心身の発達と特徴、その生活、子どものすこやかな発達を支える方法についておよそ理解している。 c:　子どもの心身の発達と特徴、その生活、子どものすこやかな発達を支える方法について理解を促す。	小テスト 課題 定期考査	課題	プリント等

※令和４年度以降入学生用

	第3章　高齢者とかかわる	1節　高齢社会に生きる 2節　高齢者を知る	a: 高齢化の現状と課題についておよそ理解し、必要な情報の収集・整理する力を身につけていており、主体的・協働的に取り組もうとしている。 b:高齢化の現状と課題についておよそ理解し、必要な情報の収集・整理する力をおよそ身につけている。 c: 高齢化の現状と課題についておよそ理解し、必要な情報の収集・整理する力を身につけているよう促す。	小テスト 課題 定期考査	課題	プリント等
	第4章　社会とかかわる	1節　共に生きるために 3 節　社会の一員としての私たちの役割ー互助・共助ー	a: 社会福祉の理念と社会保障制度についてよく理解し、互助・共助の重要性とボランティア活動の意義を深く理解し実践しようとしている。 b:社会福祉の理念と社会保障制度についておよそ理解し、互助・共助の重要性とボランティア活動の意義をおよそ理解している。 c: 社会福祉の理念と社会保障制度についての理解と、互助・共助の重要性・ボランティア活動の意義を理解するよう促す。	小テスト 課題 定期考査	課題	プリント等

※令和４年度以降入学生用

	第5章　食生活をつくる	1節　私たちの食生活と健康 2節　5 大栄養素 3 節　炭水化物 4 節　脂質 5 節　たんぱく質 6 節　ミネラル 7 節　ビタミン 8 節　その他の食品 9 節　食品の選択と表示 10 節　食品の衛生 11 節　食料自給率と食のグローバル化 12 節　食の未来と環境への取り組み 13 節　食事摂取基準 14 節　食品群別摂取量のめやす 15 節　献立作成 16 節　調理の基本	a：食生活と健康のかかわりをしっかりと理解し、栄養と食生活の安全・食の未来と環境についても理解しており、具体的・多面的な方法で実践しようとしている。 b：食生活と健康のかかわりをおよそ理解し、栄養と食生活の安全・食の未来と環境についておよそ理解している。 c：食生活と健康のかかわりを理解し、栄養と食生活の安全・食の未来と環境について理解するよう促す。	小テスト 課題 定期考査	課題	プリント等
	第6章　衣生活をつくる	1節　人と衣服のかかわり 2 節　健康で安全な衣服 3 節　衣服素材の種類と特徴 4 節　衣服素材の性能と改善 5 節　衣生活の計画と購入 6 節　衣服の管理 7 節　家庭での洗濯・保管 8 節　持続可能な衣生活をつくる	a：人と衣服・健康に、衣服の素材と手入れについて深く理解しており、状況に応じた衣服の選択と衣服計画をしようとしている。 b：人と衣服・健康についておよそ理解し、衣服の素材と手入れについておよそ理解している。 c：人と衣服・健康についておよそ理解し、衣服の素材と手入れについて理解するよう促す。	小テスト 課題 定期考査	課題	プリント等

※令和４年度以降入学生用

	第7章　住生活をつくる	1節　人と住まいのかかわり 2節　平面計画からみた住空間 3節　ライフステージと住まいの計画 4 節　健康に配慮した住まい 5 節　安全な住まい 6 節　持続可能な住まい 7 節　これからの住まい	a:住宅の機能、生活行為・ライフスタイル・ライフステージと住居の関係などを深く理解し、状況に応じた住まい方を主体的に考えようとしている。 b: 住宅の機能、生活行為・ライフスタイル・ライフステージと住居の関係などをおよそ理解している。 c: 住宅の機能、生活行為・ライフスタイル・ライフステージと住居の関係などを理解するよう促す。	小テスト 課題 定期考査	課題	プリント等
	第8章　経済的に自立する	1 節　日々の収入・支出を把握する 2 節　社会と家計の変化 3節　長期的な経済計画を立てる 4 節　経済のなかの家計	a: 家計の収入・支出、一生のリスクと対処法について深く理解し、自分の将来について具体的に考えようとしている。 b:家計の収入・支出、一生のリスクと対処法についておよそ理解している。 c: 家計の収入・支出、一生のリスクと対処法について理解するよう促す。	小テスト 課題 定期考査	課題	プリント等
	第9章　消費行動を考える・生活設計	1節　契約と主体的な消費行動 2節　多様化する販売方法と問題商法 5節　消費者の権利と責任 6 節　持続可能な社会の構築 7 節　持続可能な社会をめざす取り組み	a: 契約の基本的な仕組み、販売方法と支払方法の多様化と注意点、問題商法の種類と対処法等について理解し、これから自分自身がとる行動について、具体的に考えようとしている。 b:契約の基本的な仕組み、販売方法と支払方法の多様化と注意点、問題商法の種類と対処法等についておよそ理解している。 c 契約の基本的な仕組み、販売方法と支払方法の多様化と注意点、問題商法の種類と対処法等について理解するよう促す。	小テスト 課題 定期考査	課題	プリント等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度